

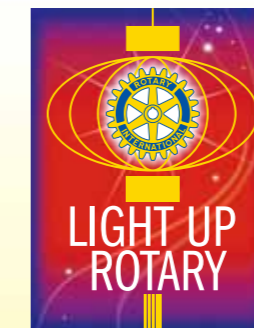
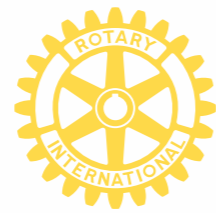
2014-2015 ガバナー月信

GOVERNOR'S Monthly Letter

5



Rotary
District 2510



国際ロータリー第2510地区 2014-2015年度ガバナー 羽部 大仁

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL (011)207-2510 FAX (011)207-2512
e-mail: rid2510@nifty.com http://rid2510.org

はぶあ ナイス 5月

親鸞(承安3年4月1日-弘長2年11月28日)は、鎌倉時代前半から中期にかけて活動した浄土真宗の宗祖である。承安3年(1173年)4月1日に、現在の法界寺、日野誕生院付近(京都市伏見区日野)にて、皇太后宮大進日野有範の長男として誕生する。母は、清和源氏の八幡太郎義家の孫娘の「吉光女」とされている。幼名は松若丸という。

治承5年(1181年)9歳、京都青蓮院において、後の天台座主・慈円(慈鎮和尚)のもとで度し、範宴と称する。伝説によれば、慈円が得度を翌日に延期しようとしたところ、わずか9歳の範宴が、「明日ありと思う心の仇桜、夜半に嵐の吹かぬものは」と詠んだことで有名である。

建仁元年(1201年)の春頃、親鸞29歳の時に叡山を下山し、後世の祈念の為に聖徳太子の建立とされる六角堂(京都市中京区)へ百日参籠を行う。そして95日目(同年4月5日)の暁の夢中に、聖徳太子が示現され(救世菩薩の化身が現れ)、「行者宿報設女犯 我成玉女身被犯 一生之間能莊嚴 臨終引導生極楽」意識「修行者が前世の因縁によって女性と一緒にいるならば、私が女性となりましょう。そして清らかな生涯を全うし、命が終わるときは導いて極楽に生まれさせよう。」という偈句に続けて、「此は是我が誓願なり善信この誓願の旨趣を宣説して一切群生にきかしむべし」の告を得る。この夢告に従い、百日の後、東山吉水(京都市東山区円山町)の法然の草庵を訪ねる。そして岡崎の地(左京区岡崎天王町)に草庵を結び、百日にわたり法然の元へ通い聴聞する。

法然の専修念仏の教えに触れ入門を決意する。これを機に法然より「禪空」の名を与えられる。親鸞は研鑽を積み、しだいに法然に高く評価されるようになる。以下次回

CONTENTS

- ガバナーメッセージ 1
- 第6グループ IM報告 2
- 第2グループ IM報告 3
- 「第7・8・9・12グループ職業奉仕フォーラム」の実施報告 4
- 第27回 ローターアクト全国研修会 5
- 第7回 全国RYLA研究会に参加して 6
- 会員基盤向上セミナー報告 7
- クラブ紹介(第10グループ) 8~9
- クラブ紹介(第11グループ)/第25回 日本ロータリー親睦ゴルフ開催案内 10~11
- 職業訓練キャンプ事業がスタートしました 12~13
- 地区史完成 14~15
- 私の雑想ノート/職業奉仕委員会から/米山便り 16
- 米山記念奨学会・ロータリー財団へのご協力への感謝/RYLEAセミナー2015開催のご案内 17
- 新会員のご紹介/計報/文庫通信 18
- 出席率・会員数 19
- 地区カレンダー(5月・6月) 20

クラブの活動計画の確認を

国際ロータリー第2510地区
2014-15年度ガバナー 羽部 大仁(札幌南RC)



2014-15年度国際ロータリーゲイリーC.K.ホアン会長が掲げられた「ロータリーに輝きを」のテーマを各クラブで有意義な活動計画を立てて推進中で、夫々に効果を上げて戴いていることに心から感謝を申し上げます。

昨年地区チーム研修セミナー、PETS、地区研修協議会に於いて、地区戦略計画の3つの重点課題について今一度各クラブで棚卸しを戴ければ幸甚に存じます。

本年度は後2ヶ月を残しております。従って10ヶ月を経過した状況ですが3つの地区重点課題について検証をしてみました。

一つに、人道的緊急性の高い観点から、ポリオ撲滅に挑戦する事をお願い致しました。この挑戦は地区に新設したポリオプラス委員会が、岡崎委員長をはじめ各委員のリーダーシップとご尽力により素晴らしい成果を挙げています。この取り組みにご理解とご協力を戴いたクラブ会長・会員の皆様に深く御礼を申し上げます。(現在常在国は、アフガニスタン、パキスタン、ナイジェリアの3カ国ですが、WHOの報告によるとナイジェリアの発症が減少して近いうちに撲滅されるとの見込みを発表しました。この報道に更なる挑戦への意欲を感じています)

二つに、ガバナー補佐と地区委員会がクラブを援助する事については、12名のガバナー補佐の卓越したリーダーシップのもと、地区とクラブの距離が少し近くなった様に感じています。又地区委員会もクラブの要請を受けて、特別月間の卓話や専門的な分野の見識を生かした、クラブへのサポートに感謝申し上げます。少し付け加えますが、昨年11月29日から12月3日の5日間タイ国の3つの地区で実施した支援プロジェクトに対する検証ツアーに参加して参りました。遠藤秀雄地区財団委員長を団長に27名の参加を得て感動的な訪問となりました。ロータリー財団は「世界で良いことをしよう」をスローガンに、

地区補助金やグローバル・グラントを使った大きな事業まで様々ですが、我が第2510地区がこの15年以上に亘って支援しているタイ国との友好の絆の深さに感動を禁じ得ませんでした。特別な想いの一つにノンカイ地区との交流があります。遠藤正之ガバナー年度にノンカイの女子高校生5名を2週間ホームステイさせ、札幌大谷高等学校に通いながらの教育文化交流を行いました。チャーターメンバーのお話を伺いますと5人の子供たちは立派に成人して其々の夢を実現しているとの事です。会うことは出来ませんでした。ノンカイのメンバーから何度も御礼を頂きました。検証ツアー実施にあたり詳細な打ち合わせや、現地のロータリアンとの連絡に尽力にされた松原国際奉仕委員長をはじめとするスタッフの皆様、出村奉仕プロジェクト委員長とスタッフの皆様には深甚なる敬意と感謝を申し上げます。

三つに、「公共イメージの向上」について、地区広報委員会を単独設置して杉江委員長をはじめとする委員各位の尽力により、9月6日の北海道新聞朝刊に全面広告を掲載しました。9月14日の「ロータリーデー」の告知とロータリーの活動を読者に広く認知してもらう目的が、果たされたと嬉しく思っております。「ロータリーデー」が9月14日と前後2週間を「ロータリーウイーク」として多くのクラブ・グループで実施されたことは、地区ガバナーとして感動を憶え終生忘れることの出来ない大切な思い出となりました。短期間にも拘らずここまで盛り上がった陰には、ガバナー補佐とクラブ会長をはじめ参加された多くのロータリアンの善意を重ねて御礼申し上げます。ロータリーの広報について、難しい事と半ば諦めていたところがありましたが、諦めずに挑戦することが良い結果に繋がると確信しました。

各クラブの活動計画の棚卸しでさらに、クラブを輝かせて下さい。

IM報告

第6グループ IM終了報告

第2510地区 第6グループ
ガバナー補佐 志比川 武(蘭越RC)



2015年3月29日(日) 蘭越町ふれあいプラザ21を会場に国際ロータリー第2510地区第6グループ「インターシティ・ミーティング」を開催致しました。

当日は御来賓として、第2510地区羽部大仁ガバナー、佐々木雅之地区幹事、第2740地区佐世保ロータリークラブ福田金治会員のご臨席を賜り、第6グループの7クラブ(小樽、小樽南、小樽銭函、余市、岩内、倶知安、蘭越)と長万部ロータリークラブから赤塚章会長にもご参加頂き、総勢113名のご登録を頂きました。

午後2時、第6グループ志比川武ガバナー補佐による点鐘、本間義明ホストクラブ副会長の開会のことば、白石勇ホストクラブ会長の歓迎挨拶により開会となりました。

第一部の基調講演は講師に第2740地区佐世保ロータリークラブ福田金治会員をお招きし「ロータリークラブについての基礎知識」と題し、福田会員がまとめた資料を用いて分かりやすくご講演頂きました。もう一度ロータリークラブの原点を振り返り、日頃の活動や事業のなかで誤った認識をしていないだろうか。正しく理解しているのかを再度確認するよい機会となりました。



引き続き第二部では、IMリーダー志比川武ガバナー補佐がコーディネーターを務めパネルディスカッションが行われました。7クラブから各1名指名さ

れたパネラーが「ロータリーの魅力とは何か」というテーマに基づき意見を述べました。各パネラーがそれぞれ異なった角度から魅力について意見し、途中アドバイザーの羽部ガバナー、福田会員からのご意見ご感想を伺い、今後各クラブが更に魅力的なクラブ作りを行うためにとても参考になるディスカッションが行われました。



次に、小樽南ロータリークラブ斎田義孝次期ガバナー補佐のご紹介、ご挨拶の後、次期開催地会長、小樽南ロータリークラブ加藤正幸会員から次回IMの案内がなされ、閉会となりました。

その後、蘭越町民センターに場所を移し午後5時30分より懇親会が行われました。ホストクラブ前会長堀川強太郎会員の開会の挨拶に続き、羽部大仁ガバナーの乾杯のご発声で開宴となりました。歓談中に春の甲子園北海道代表東海第四高校が準決勝に進んだと速報が流れると各テーブルから歓声が沸き非常に盛り上がった懇親会でありました。蘭越町の飲食店で構成している「蘭越食心会」が地元の食材でこの日のために考えた料理に、ご出席頂いた皆様から「とてもおいしい」とお褒めの言葉を頂き、会員一同非常に安堵致しました。会場の都合でIMと懇親会が別会場になるなど、ご参加の皆様には非常にご不自由をお掛け致しましたが、ロータリーの友情に免じてご容赦頂き誠に感謝しております。

(文責: 蘭越RC幹事 山田一晴)

IM報告

第2グループ IM終了報告

第2510地区 第2グループ
ガバナー補佐 武藤 哲雄(赤平RC)



第2510地区第2グループのIMが4月4日(土)、赤平市交流センターみらいにて開催されました。第2グループ4クラブから132名の登録があり、赤平クラブがホストとなつての開催です。



ご来賓の挨拶を述べる羽部ガバナー。「本来なら10分のところ3分しか時間がないようなので(笑)。と会場を笑わせました。

会議には羽部ガバナー、渡邊バスターガバナーのご臨席を賜りました。またホストクラブのある赤平市から高尾市長のご出席もいただきました。

式はご来賓の挨拶の後、次年度のガバナー補佐紹介、次年度各クラブの会長・幹事の紹介と続き、直前ガバナー補佐へ記念品を贈呈した後、特別講演に移りました。

今年度のIMのテーマは「未来を託すことも達へ」。「思うは招く」という演題で、赤平市にある植松電機株式会社の植松努専務取締役に講演を依頼しました。

植松講師は植松電機という会社を経営する傍ら、ロケットの研究をしています。敷地内に世界に三つしかないといわれる無重力実験施設があります。そこで色々な実験を行い、自分たちの力だけでロケットや人工衛星をつくるできるようになりました。その夢のような話は人の口に乗り、全国に知れるようになりました。植松講師はこの夢のような開発を子ども達に知ってもらいたいと、全国の小学校を巡っています。自分で行くだけではなく、全国の子ども達が植松電機を訪れます。その数、年間で一人を越えるといえます。

植松講師が宇宙開発をするのは手段で、目的は

「児童虐待をこの世からなくすこと」だといえます。何かをやらうとする子どもに対して、大人たちが「どせ無理」と否定してしまう。こうして、本来はあきらめることを知らなかった子ども達があきらめることを知り、失敗を避け、工夫しない大人になっていく。これからの日本は急激な人口減少の時代を迎えます。その時には考える力、そこにしかないものを作り出す力が必要になります。そういう大人になってもらうために子どもたちに関わる。夢を託す。植松講師の熱い思いが会場を埋めた会員にも伝わり、熱い余韻をもって講演は終わりました。



パワーポイントを使っての植松講師の講演。米国で「読書が好き」といったら、「本を書け」といわれ、出版し韓国で評判を呼んでいるという。

講演後の懇親会の中にアトラクションが企画され、黒人シンガー、ビリーキングのショーがありました。60年代の懐かしいナンバーのソウルフルな歌声に会場は盛り上がりました。口ずさむ会員の懐かしむ表情が会場に満ちていました。ショーが終わり、各クラブ会長からのメッセージの後、会場が一つになり、「手に手つないで」を大合唱。ロータリーの友情が結実したひと時でした。



懇親会の最後はこれ!「手に手つないで」で会場が一つに。ソングリーダーは赤平クラブの宇戸会員。みんな、楽しそう。

「第7・8・9・12グループ 職業奉仕フォーラム」の実施報告

地区職業奉仕委員会
委員長 福田 武男(千歳RC)



- 日時：2015年3月28日(土)
- 対象：第7・8・9・12グループ
- 場所：グランドホテルニュー王子(苫小牧市)
- 出席者：佐藤 秀雄ガバナー代理(PG)、
塚原 房樹PG(カウンセラー)、
国立 金助ガバナーノミニー・デジグネート、
4名のガバナー補佐(菊池 重敏AG、富永 信AG、富田 孝夫AG、手塚 貴志AG)、
グループ内の19クラブから40名の職業奉仕委員長・役員の方々、
4名の地区委員(福田 武男、岡田 秀樹、後藤 一昭、堀田 昌資)、
3名の次年度地区委員(橘 勇治、稲川 和伸、松下 早苗) 総勢54名

3月28日(土)12:00より苫小牧市のグランドホテルニュー王子において、2ロータリー年度に亘り地区内全グループで実施してきた最後の「職業奉仕フォーラム」が開催された。

佐藤秀雄PGにガバナー代理としてご挨拶を頂き、地区委員長の福田武男より「決議23-34の成立過程と意義」というテーマで基調講演が行われ、その後、地区職業奉仕委員会カウンセラーの塚原房樹PGより「職業奉仕の変遷」というテーマでたいへん意義深い招待講演をして頂きました。

最後となった今回のフォーラムには予想を超える多くのクラブ職業奉仕委員長並びにクラブ役員の



方々に参加して頂き、たいへん成功裏に終えることができました。

また突然でありましたが函館ロータリークラブの国立金助ガバナーノミニー・デジグネートが勉強のためと称して参加されました。たいへんお忙しい中、ご出席を頂いた佐藤秀雄ガバナー代理、塚原房樹PGはじめガバナー補佐の方々及び各クラブの職業奉仕委員長、クラブ役員の方々に心より感謝申し上げます。

また早くから来て準備をして頂いた今年度そして次年度の地区職業奉仕委員の方々、たいへんお疲れさまでした。



第27回 ローターアクト全国研修会

地区ローターアクト委員会
委員長 坂井 治(千歳セントラルRC)



3月21日と22日に行われた全国研修会はローターアクトクラブメンバーのうち地区代表、地区代表ノミニー(次年度地区代表)、地区幹事などを出席義務者とし、それ以外の一般メンバーも参加できる開かれた研修会です。

今年は第2510地区からは石山次期地区ローターアクト委員長とローターアクト5名、全国からロータリアンも含め約1,600人が参加し「福島からみつめる日本の未来」というテーマで福島県郡山市のホテルをメイン会場に開催されました。

第一日目はメインプログラムと視察プログラムの二本立てで行われました。

メインプログラムは開会式に続き基調講演「ふくしまはいま、どんな状況なのか―若手世代が内側から見つめて」というタイトルで行われました。

続いて第二部のワークショップに入り4つの分科会に分かれ、まちづくり、ひとづくり、フラダンス体験、伝統工芸体験などが行われました。

視察プログラムにも二つのコースがあり一つは東京電力福島第二原子力発電所視察、もう一つは被災地視察でした。

第二日目は早朝より代表者会議、全体会、閉会式などが行われました。

今回、被災地視察に参加しましたのでそちらの報告をいたします。

訪問地は郡山からバスで約2時間の第一原発と第二原発の間にある富岡町です。

放射能漏れの影響で平成23年4月22日に立ち入り禁止になり最近一部が日中の6時間に限り立ち入りができるようになった地域です。

今回語り部として第2530地区富岡ロータリークラブで震災当時会長をされていた田中美奈子さんと同行していただきました。震災当時から立ち入りができなくなっていたため当時のまま手つかずになっているところばかりです。

富岡町は第一発電所から20キロ圏内(写真1)で居住制限区域と帰還困難区域に分かれており、帰還困難区域へは道路一本の違いで全く立ち入ることができません(写真2)

JR富岡駅は駅舎もすっかり取り壊されホームには慰霊碑(写真3)が建てられています。駅前には手つかずのままです(写真4)

富岡町内の事務所(写真5)と住宅(写真6)の内部へ許可を得て立ち入らせていただきました。震災直後に避難した時のまま時間が止まっているようでした。

このような状況の地域がまだまだたくさん残っているようやく除染作業が始まっています。

今回の全国研修会ではほんの一部ですが福島の実状を再認識することができました。

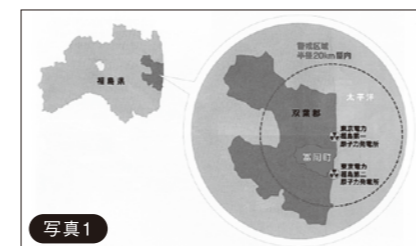


写真1



写真2



写真3



写真4



写真5



写真6

第7回 全国RYLA研究会に参加して

地区RYLA委員会
委員長 増山 柳 (江別西RC)



第7回全国RYLA研究会は、2015年3月22日(日)東京国立オリンピック記念青少年総合センターに於いて開催されました。

各地区のRYLA委員長等106名、RYLArian 10数名の参加者が集い、南園義一大会委員長(国際ロータリー元理事)の点鐘によって研究会が始まりました。



始めは、田中作次2012～2013年度RI会長から「新世代奉仕RYLA」と南園義一2004～2013RI理事による「RI戦略計画と青少年奉仕」についての基調講演に続いて、現在RYLArianで社会人として活躍している3名の青少年から、RYLAセミナーから得た有意義な経験が、現在も役立っている様子がうかがえる報告がありました。

さて、私がこの研究会に参加したかった大きな理由は、他地区でのRYLAセミナーの実態を知りたいと思ったからで、昼食後の3クラブ代表によるパネルディスカッションはとて興味深く、同じ悩みを共有しながらも、ロータリーの中でRYLAセミナーの必要性を、強く感じる事ができる内容であったと思いました。



パネラーの始めは、第2550地区栃木県(小山中央RC)森容子RYLA委員長からで…一般RYLAは、38回終了(3日間)、高校生RYLAもあって、13回目を5月30日に迎えるそうです。

セミナーでは危機管理のマニュアルの作成と、3日

間の宿泊のため、セクシャルハラスメント等をしっかりと管理する事、講師・インストラクターの人は、地区で活躍している同世代の人をターゲットに委員会企画、検討、実行し、その日の内に反省会をして次年度に繋げてゆく様になっているようです。

二人目は、第2750地区(東京城西RC)根岸大蔵地区青少年交換委員からリーダーシップについてでした。それは未来とか、可能性とか、希望的とかで、一人ひとりが行動することによって、地域や社会、世界の組織をより良くしていく事ができる力をもつことではないか。又、インターアクト、ローターアクトと比べると、一つのクラブに縛られず、色々なクラブと合同で活動できる利点もあり第2750地区では一年間を通して月1回集会を企画し繋がりを密にしているそうです。



最後は、第2680地区(柏原RC)坂東隆弘地区青少年奉仕副委員長からで、3泊4日で四国4県と兵庫県との共同開催を小豆島の孤島で開催しているそうです。自分の中で選択できる自由や自立、相手を信頼する事の大切さ等ユニークな内容でした。

三人のパネリストと参加者の共通の悩みは、ロータリアンのRYLAに対する認識に温度差がありセミナーでは中々人数が集まらない事、年1回しか無いセミナー参加者をRYLArianとして育ててゆく為に年間通して何らかの情報を発信してゆかなければならない事、ロータリアンへRYLAについての理解を深めていく努力を続けていかなければ…等が分かりました。

第2510地区のRYLA委員会も来期は委員全員で、各クラブを訪問し皆様のご理解とご協力をお願い致しますと共に、卓話のご用命もお待ちしておりますのでご連絡頂ければ必ず訪問したいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

会員基盤向上セミナー報告

国際ロータリー第2510地区
ガバナーエレクト 嵯峨 義輝 (岩見沢RC)



去る3月30・31日の両日、ホテルオークラ別館において国際ロータリー第1・第2・第3ゾーン合同会員基盤向上セミナーが開催され、当地区から羽部ガバナー、酒井研修リーダーと小生が参加してきました。

北清治RI理事の開会挨拶、趣旨説明の後、金杉ロータリーコーディネーターから「地区及びクラブ戦略計画の必要性」について講演がありました。地区の戦略計画の必要性を強調され、単年度を超える長期的な視点から地区の発展と取り組みを支えるには、戦略計画に沿って活動することが必要であり、もし戦略計画がないのなら、ガバナー、直前ガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニーが協力して複数年にまたがる計画を立案することを、強く推奨しておりました。

クラブにおいても、単年度主義の良い面と悪い面があるが、悪い面を除去するためには、又、クラブの継続的發展のためには、是非ともクラブ戦略計画が必要で、会長、会長エレクトをはじめクラブ指導者が協議して、クラブ戦略計画の作成の必要性を力説されました。

地区、クラブの戦略計画には、「ロータリーの戦略計画」を指針とするともに、世界のロータリアンのアンケートによって決定された「中核的価値観」である奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップをしっかり位置付けてほしいとのことでした。

その後の「クラブ戦略計画の作り方」のパネルディスカッションでは、ロータリーコーディネーター代行である酒井バスターガバナーが、パネリストとして登壇しました。地区会長エレクト研修セミナーでのアンケートを基にした提言で、映し出されたスライドのグラフを、多くの聴衆がカメラにとっている光景が印象的でした。

「公共イメージ向上」のパネルディスカッションでは、今年度設定されたジャパンデーが公共イメージの向上に有効であったとの報告が、印象的でした。次年度は、ロータリーデー、ジャパンデーが設定されませんが、多くのロータリアンから意見聴取し、しっかり点検・評価することが必要ではないかと思いました。

世界のロータリアンは130万人を目標にしていますが、120万人前後で推移してきています。日本では、1996年の130,982人をピークに現在89,000人です。年齢構成も50歳代以上が8割を超えています。50歳未満が1割に満たない地区もあります。ロータリアンの高齢化も解決しなければならない問題です。女性会員の比率は、世界は18.3%、日本は4.8%。

会員増強を長年目標にしてきましたが、停滞、衰退が続いてきました。

しかし、日本では2014年から増加に転じ、今年度は、2,111人の増加を見えています。この勢いで増強に力を入れ、力強い奉仕活動を展開しようと唱和し、閉会しました。

クラブ紹介

函館 ロータリー クラブ



函館ロータリークラブは1934年10月25日、小樽ロータリークラブのスポンサーで創立されました。当時の函館はJR函館駅から函館西部エリアが政治・経済の中心地域で、その為、現在も会員の拠点はこの地域が多くなっています。市街の東部地域への発展と共に会員の拠点は市内全域に広がっています。クラブの特徴として会員の業種(約70業種)の多様性があります。中でも出先機関の長と言われる会員が20%を超え、この事が函館RCに様々な意味で良い刺激を与えています。また、在籍20年以上の会員が40%在籍しており、例会他各種の活動を通じ、自然に函館RCの歴史や精神を学ぶ事ができるという大変恵まれた環境にあるクラブです。

森 ロータリー クラブ



森ロータリークラブは1961年10月の焼失家屋633戸の「森町大火」の大災害から3年後の1964年3月に函館ロータリークラブをスポンサークラブとして会員25名により創立されました。今年度で創立51周年を迎えます。現在会員数39名、ここ数年は若い年代が入会しており、30代から80代まで幅広い年齢層で構成しています。地域にあっては自力で奉仕活動をしている団体を支援しています。8月には地元ホームステイをしている海外留学生と受け入れ先のご家族を例会に招き、交流を深めています。12月にはクリスマス家族会を開き、家族への感謝と会員相互の親睦を深めています。ロータリアンとして地域で輝くことを目指し、楽しい例会を心がけています。

函館亀田 ロータリー クラブ



函館亀田ロータリークラブは、1972年5月に函館東ロータリークラブのスポンサーのもと、25名の会員で創立され、現在43名の会員で構成されている43年目のクラブです。当クラブは近年40代の会員及び女性会員が増え(現在女性会員5名)、多様なメンバー構成となっていますが、新人への先輩会員の優しい声掛けのもと、和やかな雰囲気です。奉仕活動として「北海道交流センター(HIF)」の留学生を対象に「そば打ちと餅つき」を体験してもらう国際奉仕事業、児童養護施設の生徒と社会福祉法人の方々を招いて、会員と家族と一緒にジャガイモ掘り体験を行う事業、中学生を対象として会員企業の協力のもと、青少年の職場体験事業を実施しております。最後に、当クラブの特徴は会員同士のコミュニケーションの良さから生まれるアットホームな雰囲気です。これからもチャーターメンバー3名を中心に益々輝ける函館亀田RCへ前進を続けて行きます。

七飯 ロータリー クラブ



七飯ロータリークラブは1970年に創立して今年で45周年を迎えます。現在会員数は17名と小さなクラブですが、まとまりが良くクラブの雰囲気は和やかなクラブです。その強みを生かし例年以下の事業を行っています。8月に各国の留学生が集う国際交流の集いは24回目、9月に10・11グループの会員が集う合同観月会が29回目を数え、そして1月にはカレンダーを販売して七飯町社会福祉協議会に寄付をするカレンダー市を開催、今年で10回目をかぞえます。また赤松公園に電波時計・植樹・案内看板などを寄贈しています。当クラブは、来年開業する北海道新幹線の車両基地がある町として、これからも各方面の方々とのコミュニケーションを大切にしながら新たな事業を始めたいと考えています。

長万部 ロータリー クラブ



長万部町は札幌と函館の中間点に位置し、交通の要衝として発展してきました。JRの駅が8駅あり国道5号・37号・230号線が交わっています。かにめしとホタテの町です。当クラブの設立は、1968年3月森ロータリークラブをスポンサーとし29名でスタートしました。今年度で創立47年目を迎えています。しかし現在会員の高齢化に伴う退会、景気沈静化に伴い会員増強が思うようにならず、会員数が漸減しながらもロータリー活動に邁進してきました。長万部町最大のイベント「毛がにまつり」に出店し、ロータリーの社会貢献並びに広報活動を行っています。又、東京理科大学長万部キャンパスの学生に対し、梅まつりなどの各イベントを側面から応援し、タイ国・中国からの留学生に対しても同様のおもてなしをしています。また、40周年事業で行った役場庁舎前の花時計の雑草取りなどを各会員の協力のもと行い町民に癒しの場を提供しています。「かにもよしそばもまたよし長万部」ですのでJR長万部駅内にある観光案内所でロータリークラブ会員と話をするプレゼントがあるかもしれません! ぜひお立ち寄りください。写真は当町のゆるキャラ「マンベ君」と一緒に、梅まつり家族会です。

函館 セントラル ロータリー クラブ



函館セントラルロータリークラブは、2005年に函館ロータリークラブをスポンサーに28名の会員で創立されました。2510地区で最も新しいクラブです。現在の会員数は24名です。今年度創立10周年を迎え、2014年7月5日に創立10周年記念式典祝賀会を開催し多くの皆様の参加を頂き、無事終えることができました。参加頂きました皆様に心より感謝申し上げます。当クラブは会員数の少ないクラブで歴史の浅いクラブですが、この10年の間にガバナー補佐を2名輩出することができました。ガバナー補佐経験者の指導を受けながら毎回有意義で楽しい例会の実現を果たしております。親睦と奉仕を基に地域への奉仕活動に汗を流しております。奉仕活動として、老人福祉施設へ植樹花壇の設置・舞台の設置・テントの寄贈・歩行器の寄贈、クリスマスには毎年施設入居者全員へのプレゼント等、函館市交通公園にゴーカート・花壇・ベンチ等を寄贈。また、設立より毎年9月の全国秋の交通安全運動に合わせ交通安全街頭啓発を実施し運転者に啓発物を配布し、交通安全を呼びかけています。会員全員が奉仕活動に参加できるよう努め地域へ密着した奉仕活動を目指しています。年5回程度の夜間例会では会員相互の理解を深めることができ、家族の皆様にも参加を頂きロータリーを一層理解して頂くことができ盛況でいつも楽しい夜間例会であります。今後も常に変化するロータリーを考えながら、ロータリーの理想に少しでも近づくことができるよう着実に歩み続けて参りたいと思います。

クラブ紹介

江差 ロータリー クラブ



江差ロータリークラブは1962年6月33名のチャーターメンバーにて創立し2012年6月、50周年を迎えました。現在会員は12名で内女性会員1名が在籍しています。少人数クラブではありますが、創立以来の歴史と伝統を守り、全員参加型の活動を行っています。主な恒例行事として、*「町民の森」にある「ロータリーの森」に江差ロータリークラブが植樹した栗、豊後梅、能登霧島ツツジへの追肥、樹育のための下刈りや補植 *姉妹クラブ(岩谷堂RC)、友好クラブ(珠洲RC)との記念行事での交流、訪問 *地域の職業人を対象に職業奉仕表彰などを続けています。特に最近では地区補助金事業として町民の森に数年に渡り栗の木120本を植樹。これで通算栗の木だけで、210本が植樹されました。創立50周年には記念事業として栗の木を製材した記念碑を建立しました。今後も、栗拾いを楽しめる森づくりの植樹等、町民に親しまれる活動等を目指していきます。

函館 五稜郭 ロータリー クラブ



当クラブは1970年に創立し、今年度創立45周年を迎える事ができました。会員は減少傾向にありましたが、ここ3年位で減少傾向に歯止がかかり50名の会員を維持しています。若い会員も増え非常に活気のあるクラブです。今年度の地区重点課題でありました、ポリオ撲滅に向けてのチャリティコンサートを9月に開催致し沢山の寄付金を集める事ができました。社会奉仕委員会では市内の老朽化した公園の砂場を会員30名程で整備を致しました。子供達が本当に楽しんで遊んでくれています。市からも感謝状を頂いております。国際奉仕委員会が行っている事業であります、ベトナム・ホーチミン市の孤児院への支援が今年で3回目になります。会員と家族を含めて9名で行って来ました。今年は学用品、遊具、施設運営費を寄附させて頂きました。写真は贈呈式の模様です。

北斗 ロータリー クラブ



当クラブは、来年20周年を迎える函館の隣町 北斗市(旧上磯町と旧大野町が合併)に拠点がある、14名の小さなクラブです。元々は、上磯ロータリークラブとして40名を超える会員がいて、現在に至ります。少数ながら、非常にまとまりがよいクラブです。最近の活動の一部を紹介すると、創立10周年の時から続いているキッズアドベンチャー事業は、北斗市教育委員会や自衛隊の皆さんと共催し、小学生に防災キャンプを体験させ教育すべく、行動しています。また、地元の保育園や幼稚園の合同サッカー大会への支援、地元小学校の海浜清掃参加など子ども達の健全育成に寄与しています。現在の状況ですが、先の10年を見据えて会員増強をすべく理事会で話し合っています。結果が出ましたら、また報告いたします。今後とも、よろしくお願い致します。

松前 ロータリー クラブ



松前と言えば「城」。城と言えば桜と言われるように、松前町の代名詞になっている。公園には250種1万本の桜が毎年咲き乱れ、観る人を楽しませてくれますが、近くの善光寺には「血脈桜」と呼ばれる早咲きの老木があります。ある年のこと、老朽化した本堂を建て直すため、この桜の木を切るになりました。切ることになった前夜、住職の枕元に美人が現れ「死が明日に迫る我が身、私に血脈を与えてください」と、娘は住職に懇願をされたそうです。住職はやむなく本堂に案内をして、血脈を唱えて「血脈」を与えました。翌朝、住職が桜の木を切り倒そうとして見上げたところ、葉の間に何か白いものが風に揺れていました。近寄って見ると、それは昨夜与えた血脈。驚いた住職は直ちに伐採するのをやめ、盛大にその桜の木を供養することにしたそうです。以来、この桜は「血脈桜」と呼ばれ今もって多くの人から愛され、心を癒し大切にされています。[年年歳歳 花相似たり 歳歳年年 人同じからず] (文責：第11グループガバナー補佐 大日向豊吉)

函館東 ロータリー クラブ



当クラブは、今年度57年目を迎え、函館市内では函館ロータリークラブに続き歴史のあるクラブです。五十嵐稔会長を筆頭に48名のメンバーが在籍しております。今年度のクラブテーマは「ロータリーをもっと学ぼう明日のために」です。今年度、社会奉仕活動として、函館市西栞楼グラウンドの緑化活動としての植樹を行いました。国際奉仕活動としては、バンコク(タイ)の障害者施設に車椅子の寄贈を行いました。例年の事業となっている青少年奉仕活動として当クラブでは奨学金の基金を設け、クラブ奨学生(高校生)3名に奨学金の給付をしております。また、当クラブは、道南で唯一、ローターアクトの提唱をしています。函館大学ローターアクトクラブは、函館大学の学生、OB・OGがメンバーで、STV24時間テレビの募金活動のお手伝い、湯川海岸の清掃ボランティアなど活発に活動しております。なお、写真はバンコクの障害者施設に車椅子を寄贈したときのものです。

函館北 ロータリー クラブ



当クラブは、会員数21名の小さなクラブです。一番の課題は、会員増強となりますが今年度は、会員を30名に増やすという目標を立て努力しています。クラブ活動としては、七重浜にある洞爺丸海難慰霊碑の清掃、函館ハーフマラソンの給水のボランティアを行っています。給水ボランティアでは、会員夫人にもお手伝いして頂いています。また、クラブ奨学生として今年度は、遺愛女子高等学校の生徒に支援を行っています。他に、少年野球大会の支援もっており「函館北ロータリークラブ杯」の大会を主催しています。クラブには、ゴルフ親睦会の喜多会(きたかい)が有り親睦コンペを年数回行っています。友好クラブとして、千葉港RC、和歌山城南RC、台北東北RC(台湾)の皆様と交流を行っています。各クラブとは、会報を送りあい情報の交換を行っています。また、周年行事には、多数の会員が出席し親睦を深めています。会員相互の交流・連携が深い為か出席率も高水準を保っています。夜間例会、家族会では、会員夫人が多数参加して頂いているのも特徴であると思います。



第25回 日本ロータリー親睦ゴルフ

北海道大会

2015年6月22日(月)

午前7時スタート(OUT・IN同時)

— 小樽カントリー倶楽部 —

参加資格

全国のロータリアン及び配偶者ならびにゲスト

競技方法

18ホールズストロークプレイ(新ペリア方式)
※スタート時間及び組合せ等は当競技実行委員会により決定致しますが、ご希望の組合せ等がございましたらお知らせください。後日、組合せその他競技細目等を参加者各位様にご送付致します。

プレイ代

19,000円程度です。 ※高齢者割引あります。

参加登録費

16,000円(本大会ゴルフプレイ代金は含みません。お一人様料金)
ご夫婦でご参加をされる方はお二人様で30,000円となります。
ゴルフをされない方の懇親会参加費は5,000円となります。

参加申込

JTB北海道小樽支店大会事務局 〒047-0032 北海道小樽市稲穂3-7-4 朝日生命小樽ビル1F

振込
口座

北洋銀行 本店 普通口座 6765131
JGFR北海道大会事務局

「タイ貧困学生のための、 就職面接会及び識字語学教育を伴う 職業訓練キャンプ事業」が スタートしました。

国際ロータリー第2510地区
財団委員・GG1524894第一連絡者 出村 知佳子(札幌北RC)



Vocational Training Camp with Language Training and Jobs Fair for Thai underprivileged students GG#1524894 (タイ3340地区、ノンカイロータリークラブ、3350地区バンコククロントイロータリークラブ、2510地区)のプレ職業訓練キャンプ事業がスタートし、最初に当地区からの専門家講師派遣事業が実施されました。



今回は、洋裁、料理の専門家が訓練講師として、貧困、虐待、人身売買等、様々な悲しいバックグラウンドから両親や家族と暮らすことができず、約900人の学生がそこで学び、生活するロイヤルキングスクール(タイ東北地区・ボンピサイ)に3月16日～30日の期間訪れ、職業訓練キャンプを実施しました。



2人のロータリアンと専門家、通訳を含め6名の派遣講師は、プロフェッショナルとして全身全霊でこのトレーニングに励み、生徒達は「一生懸命努力すれば必ず夢は叶う」ことをこの訓練キャンプを通じて強く感じ、職業訓練キャンプ終了の際には、生徒全員が涙しました。今回の職業訓練キャンプの仕上げでは、料理では美しい盛り付け方を、洋裁では自作の洋服を着てのファッションショーまで行いました。



また、トレーニングを通し清潔を保つこと、整理整頓の大切さ、プロとしてお金を頂くことへの責任の重さについての基本的なプロの姿勢についての講義も行われ、生徒達は大切に受け止めていました。

今後これらに加えて有機農業の訓練キャンプも行われ、タイ東北地区の9校のロイヤルキングスクールの生徒達や、貧困に苦しむ農村の学生達合計約720名にこの職業訓練キャンプのチャンスが与えられます。更に地元の短大の協力により、山岳民族の生徒には合わせてタイ語訓練も行われます。最終的には地元商工会議所と協力して「就職面接会」を開催し、習得した技術により就職に結び付けていきます。

同時に、この事業が完了しても、この職業訓練キャンプが継続して行うことができるように、ここで習得した技術で学校の敷地内のレストランや売店で生徒たちがサービスし販売した対価により、グローバル完了後の基金、学生たちが更に勉強していく基金作りにもつなげられます。

子供達の抱える問題をなんとかしたい一心で、事業立案から開始まで2年近くかかりましたが、素晴らしいスタートを切ることができました。これから事業完了まで2年間の長い事業期間になりますが、提唱国のロータリアン、当地区の国際奉仕委員会、VTT委員会、財団委員会、そして、両国のガバナー等と共に、多くの人達が関わり最後まで確実に見守っていきたいと思います。

私達の新たな未来の夢計画がスタートしました。皆様もどうか子供達の未来と一緒に見守っていき一員になって頂ける様よろしくお願い申し上げます。



地区史完成

国際ロータリー第2510地区
2014-15年度ガバナー 羽部 大仁(札幌南RC)



4月12日、岩見沢で開催された地区研修・協議会で前日、地区史の印刷が終わり急いで一冊製本したものを参加の皆様にご紹介を兼ねてお披露目させていただきました。

今年度の地区目標の一つに「全クラブで地区史編集に協力しよう」を挙げて取り組みました。

18年前ご一緒にお手伝いさせて戴いたご縁で塚原房樹バスターガバナーに地区史編集委員長をお願い致しました。担当された地区委員の皆様には、多くの委員会を開催して原稿の依頼、資料集めから、各ガバナー年度の掘り起こしまで本当にご苦労さまでした。

今回の出版に至る経緯につきましては、18年間の経過と地区史の持つタイムリーな情報を伝達出来なくなったことに気付かされました。併せて塚原バスターガバナーの強い後押しもあり、他界されたガバナーも多く、そのガバナーと仲間達にも捧げたいと考えています。

出来上がった第1号は今私の手元にあり、毎日何度も読み返しています。素晴らしい出来上がりに満足しています。併せて前回の反省も反映され、大きさはB5サイズからA4サイズに拡大され大変見やすくなりました。拡大鏡の心配もありません。

今回は初版の2,000冊しか印刷しないことになっています。幸いにもクラブ毎の予約数は既に1,200冊を超えています。是非今回多くの地区の皆様へ18年ぶりの地区史のご購読をお願い申し上げます。

地区史Ⅱは2,000冊限定、1部2,000円です。

販売は、定数になりしだい終了いたしますのでお早めにお申し込み下さい。

お申し込みは、

札幌市内ロータリー合同事務所
塩谷事務局又は石田事務局まで
TEL 011-231-1297



地区史Ⅱ / 目次

口絵

ポール・パーシー・ハリス、米山 梅吉、佐藤 昌介、宮脇 富、伊藤 義郎

発刊の辞 地区史編集委員長 塚原 房樹

発刊ご挨拶 国際ロータリー第2510地区2014-2015年度ガバナー 羽部 大仁

祝辞 元RI理事・元RI財団管理委員・RI第2510地区バスターガバナー 伊藤 義郎

ロータリーの発祥

国際ロータリーの黎明

日本ロータリーの歴史

日本ロータリーの発祥(札幌RC誕生まで)

北海道ロータリー史

札幌ロータリークラブの誕生

戦時下の各クラブの活動

参考文献

トピックス

1 国際ロータリー第2510地区2005-2006年度バスターガバナー 塚原 房樹

2 国際ロータリー第2510地区2012-2013年度バスターガバナー 細川 好弘

3 国際ロータリー第2510地区2008-2009年度バスターガバナー 矢橋 温郎

4 国際ロータリー第2510地区2014-2015年度ガバナー 羽部 大仁

5 国際ロータリー第2510地区2014-2015年度クラブ管理運営委員会 宮部 光幸

ガバナー編

1997-1998年度～2014-2015年度

クラブ編(グループ別)

第2510地区クラブ(70クラブ)

第1グループ～第12グループ

あとがき

折込(国際ロータリー第2510地区の系統図)

私の雑想ノート No.11

職業奉仕の原点はギルドの復活

バストガバナー
塚原 房樹
(札幌東RC)



最初4人で始まったロータリーが、110年後の今、120万人の大所帯となり、世界中でその存在を許されてきました。それには確固とした理由があるはず。その理由は何でしょうか。およそ人類文化史上の諸制度は因縁あって栄え、そして因縁あって滅ぶという歴史上の真理に基づきます。ロータリーもその例外でなく、興隆期と衰退期がありました。過去をさかのぼり歴史の上からその興隆期の軌跡を追って見ましょう。

まず1930年から1945年にかけてロータリーはアメリカ社会から絶大な尊敬と信頼の目を持って迎えられました。何か確固とした実践の軌跡を残したに違いありません。アメリカは民間主導の福祉社会だから、労力と時間を割いてボランティア活動をするということはアメリカの国民にとって当然のことであり、別に尊敬と信頼の目を持って迎えられるということはありません。またロータリーが為すべきことでもなかったでしょう。ではいったい職業倫理の提唱団体として具体的に何をしたのでしょうか。

ロータリーができた時アメリカの経済社会に、中世より近世にかけて西欧諸都市において商工業者の中で結成された各種の職業別組合・同業組合は1つもありませんでした。これをロータリーは作っていききました。公共に奉仕する現代の「ギルド」の復活です。このことは商工会議所を倫理を提唱する団体として蘇らせました。この2つはロータリーがアメリカ社会に残した最大の功績なのです。

これこそがロータリーの「職業奉仕」の原点なのです。ではどうしてロータリーは同業組合を組織できたのでしょうか。我々は1業1会員制の原則に基づいて、同業者の中から選ばれてロータリーの会員になったと思っています。しかしロータリーはそのようには考えません。ロータリーの会員は同業者の中から選ばれたのではなく、各々の業界にロータリーが派遣した大使(使節)であると考えます。ロータリーの大使の役目とは、ロータリーの奉仕の理想をロータリアン以外の人にシェアすることが目的です。したがってロータリアンは同業組合を組織して、ロータリー倫理訓(1915年)を基にした企業行動のあり方、職業倫理基準を提唱し広めていったのです。

ロータリアンの数だけ同業組合が組織され、商業道徳の高揚は著しいものがありました。この結果ロータリーに対するアメリカ社会の信用が高まり、ロータリーは爆発的に発展するようになりました。

職業奉仕委員会から

ロータリーの本の紹介

「信天翁(AHODORI)」よちよち歩く
1970年 齋木 亀治郎 著



「孔雀は美しい羽根をもっているがその声は驚くほどのものではない。鶯はうっとりさせる美声をもっているがその姿はひなびていて。姿も醜く、声も悪く、砂に下り立つとよちよち歩きすらむつかしい信天翁は他の鳥にはみられない鋭い透視力と強い飛翔力が天から与えられているそうです。その声はまずくとも力のかぎり翔ぶ信天翁、私は敢えてロータリーのアホウドリたらんことを誓います」
1968～69年、日本からの初めてのRI会長-東カ崎潔が就任した年度に、RI368地区(現在のRI2680地区)ガバナーを務めた齋木翁の月信を中心にまとめられた自叙伝。
彼は姫路RCの主たるチャーターメンバーであるが、肩の凝らない内容であり、半世紀以上前のロータリーの風景が見えるようでもあり、ロータリー哲学の優れた解説書でもある。

職業奉仕のミニ情報

過日の職業奉仕フォーラムに因んで、「決議23-34」の中から…
幸せな人生を送るために、①幸せな家庭を築き、②自分の職業を繁栄させ、③生き甲斐のある人生を送る、誰でもが望むであろうこれら3つを同時に実現するための一本の道がある。
それは → 生活のすべてに「奉仕の理念」を取り入れることだ、とロータリーは教えているのです。(決議23-34の第2項の①)

米山便り

ロータリーとの関わり



米山奨学生
チェスバ マリアンナ
イタリア (札幌南RC)

米山奨学生になってもう10ヶ月経ちましたが、あっという間でした。時間はやはりはやいものですね。確か、面接に受かった連絡が来たのは去年の今頃ですが、そのメールを読んだ瞬間がまだ記憶に残っています。興奮しすぎて忘れられない一日です(笑)。

なぜ私が選ばれたのかという疑問が頭の中にありましたが、それよりもその感謝の気持ちをどのように伝えればよいかをずっと考えていました。言うまでもなく答えが一つしかなくて、それはヨーロッパ代表として積極的に交流することでした。それを目指してこれまで努力してきましたが、その成果が現れてきたので私は非常に嬉しいです。

その成果というのは、皆様の私に会った時の素直な笑顔です。この温かい気持ちや環境に困られたからこそ勉強にも十分に集中ができたと言っても過言ではないと私は思います。素敵な出会いまた貴重なアドバイスと話をありがとうございました。ロータリークラブの皆様へ感謝しています。

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

札幌はまなすRC	青木 貞康	会員 (1回)	3月26日	札幌南RC	西川 哲也	会員 (4回)	3月 6日
札幌西北RC	小林 秀樹	会員 (4回)	3月27日	室蘭北RC	川本 康裕	会員 (2回)	3月31日
札幌南RC	木下 義章	会員 (2回)	3月 6日	函館RC	国立 金助	会員 (5回)	3月27日

米山功労クラブ

札幌南RC (41回) 3月 6日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

メジャードナー

函館RC	国立 金助	会員(レベルI)2月	札幌RC	勝木 紀昭	会員(レベルI)3月
------	-------	------------	------	-------	------------

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

芦別RC	石岡 雅	会員 (1回)	3月	室蘭東RC	森田 邦義	会員 (1回)	3月
芦別RC	角幡 裕明	会員 (1回)	3月	室蘭東RC	佐々木 健治	会員 (1回)	3月
札幌南RC	小林 昌志	会員 (5回)	3月	室蘭東RC	遊佐 潤	会員 (1回)	3月
札幌南RC	中道 博	会員 (2回)	3月	登別RC	仲川 弘誓	会員 (1回)	3月

ポール・ハリス・フェロー

札幌はまなすRC	青木 貞康	会員	3月	室蘭東RC	多田 伸一	会員	3月
余市RC	荒木志津子	会員	3月				

ベネファクター

札幌南RC 羽部 大仁 会員 3月

RYLAセミナー2015開催のご案内

開催日 / 2015年5月16日(土)～17日(日)〈1泊2日〉

場所 / 今年は慧林寺! 〈札幌市豊平区〉
(羽部大仁ガバナーのお寺)

内容 / 講演会、ディスカッションなど
リーダーシップを養うプログラム



ライラ Rotary Youth Leadership Awards(ロータリー青少年指導者養成プログラム)の目的は、青少年を対象にスキルと人格を養いながら、奉仕、高い道徳的基準・平和といったロータリーの価値観を学ぶ機会を提供することとされています。

2014～2015年度地区RYLAセミナーは、チェンライロータリークラブ会長 原田義之先生をお迎えして開催することと致しました。

お問い合わせ先 / 国際ロータリー第2510地区RYLA委員会

お申し込み先 / E-mail: rid2510ryla2015@gmail.com FAX: 011-386-2148

2015年5月のロータリーレート 1ドル 118円

**新会員の
ご紹介** 敬称略



余市RC
三浦 久
入会日: 2月4日
職業分類: 損害保険



札幌モーニングRC
川田 真範
入会日: 4月1日
職業分類: アルミ・ステンレス加工業



恵庭RC
鷺田 政昭
入会日: 4月1日
職業分類: 土木全般工事業



千歳セントラルRC
月俣 美子
入会日: 4月7日
職業分類: 飲食業



えりもRC
楫川 正浩
入会日: 4月7日
職業分類: 信用金庫



苫小牧北RC
藤井 圭介
入会日: 4月7日
職業分類: 建築材料販売



岩見沢RC
前田 泰彰
入会日: 4月9日
職業分類: 普通銀行

訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに心からご冥福をお祈り致します



吉田 正治 会員(滝川RC)
2015年3月20日ご逝去(享年81歳)

【ロータリー歴】

1976年1月8日 入会
1986～1987年度 幹事
1995～1996年度 会長
2000～2002年度 地区米山記念奨学委員
財団メジャードナー(レベルI)、ベネファクター
米山功労者メジャードナー(15回)

**文庫
通信**



(331号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご利用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー情報抜粋

[下記申込先:ロータリー文庫]

◎ 「ロータリー東日本震災復興基金日本委員会活動報告」 黒田正宏編集 2014 47p
◎ 「街を流された方々を診て…」 畑山徹 2013 4p (D.2830地区大会記録誌)
◎ 「ロータリアンとは その1～3」 深川純一 伊丹R.C. 2014 3p (純ちゃんのコーナーPartXIII)
◎ 「ロータリーを輝かせる為には」 朱秋龍 2015 10p (D.2710地区大会特集号)
◎ 「国際ロータリーにおける中央集権と地方分権」 直木太郎 1971 3p
◎ 「『職業奉仕』は菩薩の両願」 塚原房樹 2015 1p (D.2510月信)
◎ 「そして賽は投げられた」 久野薫 2015 1p (D.2680月信)
◎ 「『職業奉仕』の10分スピーチ」 新藤信之 2014 2p
◎ 「職業奉仕の森」 鈴木 一作 13p
◎ 「ロータリーの倫理的行動指針の変換」 柿沼利明 2012 1p (古河東R.C.週報)

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館/午前10時～午後5時 休館/土・日・祝日

2014-2015年度 RIテーマ LIGHT UP ROTARY

出席率・会員数

グループ	クラブ数	例会数	会員数				出席率
			2014.7.1	2015.3.31	増減	内女性	
1	深川	4	33	35	2	2	84.96
	羽幌	4	47	45	-2	2	73.19
	妹背牛	4	10	12	2	0	72.91
	留萌	4	40	41	1	3	78.31
	小計		130	133	3	7	77.34
2	赤平	4	29	29	0	0	72.20
	芦別	4	37	36	-1	2	76.51
	砂川	4	38	37	-1	0	92.59
	滝川	4	81	85	4	3	71.00
	小計		185	187	2	5	78.08
3	美唄	4	30	32	2	0	85.86
	江別	4	32	32	0	1	81.25
	江別西	5	25	26	1	3	94.60
	岩見沢	4	74	75	1	0	91.53
	岩見沢東	4	23	23	0	3	83.52
4	栗沢	3	24	23	-1	1	88.10
	栗山	4	24	25	1	4	94.00
	当別	5	25	27	2	0	88.49
	小計		257	263	6	12	88.42
	5	札幌	3	112	114	2	0
札幌はまなす		4	12	16	4	2	85.81
札幌北		4	33	35	2	3	91.18
札幌モーニング		3	40	41	1	0	70.27
札幌西		4	50	52	2	8	83.61
6	札幌西北	4	31	31	0	3	81.40
	札幌手稲	3	37	37	0	3	88.89
	小計		315	326	11	19	85.51
	札幌東	4	114	123	9	0	99.35
	札幌清田	4	17	17	0	4	100.00
7	札幌幌南	4	57	72	15	11	100.00
	札幌真駒内	3	22	24	2	4	100.00
	札幌南	5	78	80	2	0	98.75
	札幌大通公園	4	12	13	1	1	61.54
	新札幌	3	22	23	1	2	90.16
8	小計		322	352	30	22	92.83
	岩内	4	18	19	1	1	79.56
	倶知安	5	40	40	0	5	65.00
	小樽	4	73	73	0	0	79.36
	小樽南	4	71	76	5	2	86.97
9	小樽銭函	2	19	19	0	1	82.00
	蘭越	5	11	11	0	0	90.90
	余市	4	45	47	2	4	84.00
	小計		277	285	8	13	81.11

3月出席率・会員増減数

- クラブ数 70クラブ
- 期首会員数 2,497人
- 当期末会員数(女性) 2,572人(124人)
- 増加会員数 75人
- 当月平均出席率 82.32%

グループ	クラブ数	例会数	会員数				出席率
			2014.7.1	2015.3.31	増減	内女性	
7	千歳	4	52	58	6	5	92.83
	千歳セントラル	4	31	35	4	3	75.00
	恵庭	4	46	46	0	2	81.32
	北広島	4	17	17	0	1	83.00
	長沼	5	19	19	0	3	75.00
8	由仁	4	5	8	3	0	93.75
	小計		170	183	13	14	83.48
	えりも	4	20	21	1	1	94.05
	三石	5	15	15	0	2	78.62
	様似	5	24	23	-1	1	79.13
9	静内	4	60	64	4	0	81.25
	浦河	5	22	21	-1	0	80.91
	小計		141	144	3	4	82.79
	伊達	4	57	56	-1	0	77.01
	室蘭	4	37	34	-3	0	67.65
10	室蘭東	3	35	35	0	0	76.20
	室蘭北	5	40	38	-2	3	66.67
	登別	4	31	31	0	1	83.87
	洞爺湖	4	8	7	-1	0	94.00
	小計		208	201	-7	4	77.57
11	函館	4	81	83	2	1	82.55
	函館亀田	4	41	42	1	5	88.55
	森	3	39	39	0	0	59.00
	七飯	4	18	17	-1	0	60.80
	長万部	4	9	9	0	0	80.55
12	函館セントラル	4	27	23	-4	2	73.80
	小計		215	213	-2	8	74.21
	江差	4	10	12	2	1	62.50
	函館五稜郭	4	46	49	3	0	88.18
	函館東	4	46	48	2	5	72.94
13	函館北	4	21	21	0	0	89.77
	北斗	4	14	13	-1	0	65.40
	松前	2	4	4	0	0	75.00
	小計		141	147	6	6	75.63
	白老	3	31	31	0	2	83.60
14	苫小牧	4	48	50	2	2	80.00
	苫小牧東	4	27	28	1	5	88.89
	苫小牧北	4	30	29	-1	1	85.31
	小計		136	138	2	10	84.45
	合計		2,497	2,572	75	124	82.32

※札幌幌南RCには札幌幌南ライラックロータリー衛星クラブの会員数11名(内女性会員6名)を含む

地区カレンダー(5月・6月)

5 月		6 月 ロータリー親睦活動月間	
1(金)		1(月)	
2(土)		2(火)	
3(日)	憲法記念日	3(水)	
4(月)	みどりの日	4(木)	
5(火)	こどもの日	5(金)	
6(水)	振替休日	6(土)	第7グループIM(北広島) ～9(火) 国際大会(ブラジル・サンパウロ)
7(木)		7(日)	
8(金)		8(月)	
9(土)	長沼国際交流フェスティバル(長沼)	9(火)	
10(日)		10(水)	
11(月)		11(木)	
12(火)		12(金)	
13(水)		13(土)	倶知安RC50周年記念式典(倶知安)
14(木)		14(日)	現新地区ガバナー補佐・委員長合同引継ぎ会議(札幌)
15(金)		15(月)	
16(土)	第12グループIM(白老) ～17(日) 地区RYLAセミナー(札幌)	16(火)	
17(日)	第1グループIM(深川)	17(水)	
18(月)		18(木)	
19(火)		19(金)	
20(水)		20(土)	～21(日) インターアクト年次大会(新ひだか)
21(木)		21(日)	
22(金)		22(月)	
23(土)	恵庭RC45周年記念式典(恵庭)	23(火)	
24(日)		24(水)	
25(月)		25(木)	
26(火)		26(金)	
27(水)		27(土)	ローターアクト年次大会(函館)
28(木)		28(日)	
29(金)		29(月)	
30(土)		30(火)	2014-15年度終了
31(日)			



表紙の解説

5月は端午の節句、内孫が二人とも男の子でしたのでお父さんの鯉、お母さんの鯉、大智君の鯉、大乘君の鯉が泳いでいます。その鯉のぼりをイメージして書いてみました。今回の句は三度目の登場となる正岡子規の句を載せました。

「おもしろく ふくらむ風や 鯉戯」

この作品は明治26年のものとされています。前の年に帝大を中退して12月には、日本新聞社に入社しています。この翌年25歳の青年子規が詠んだ句です。

正岡子規は、明治初期に日本に野球が紹介されて間もない頃の愛好者でした。1886年(明治19年)から1890年(明治23年)頃、この球場がある上野公園内で野球を楽しんでいたそうです。その証拠に子規の随筆「筆まかせ」の中に、明治23年3月21日午後、上野公園博物館横の空き地で試合を行ったことが書かれており、その時子規は捕手を守っていたことが分かる内容が書かれています。

その後、子規は野球を題材とした俳句や短歌・小説・随筆を発表して野球の普及に貢献しました。また、数々の野球用語を日本語訳したことも知られています。

このような功績を称え、上野恩賜公園開園式典130周年を記念し、2006年(平成18年)7月21日に上野恩賜公園野球場で句碑の除幕式と正岡子規記念球場の愛称が披露されました。句碑には「春風や まりを投げたき 草の原」の句が刻まれています。(はぶあナイス8月号に紹介した)以前夏目漱石を紹介した時にも、子規との交友に触れましたが帝大の同期で特に仲の良かったことが窺えます。

羽部